2019「白神の里」ＪＡまつりに出店

女性部（佐々木博子部長）は、８月31日にＪＡあきた白神カントリーエレベーターで開催された、2019「白神の里」ＪＡまつりにテント村を出店し、「白神ねぎで夏を乗り切ろう！」をテーマにＡコープ商品と今年新発売したばかりの白神ねぎを使用した「秋田ぶっかけ生姜大根」や「白神ねぎラー油」、「白神ねぎしょうが生ふりかけ」をふんだんに活用した料理を用意し、試食提供しました。試食した来場者は「おいしい」「家でも作ってみよう」と、提供する女性部員に作り方を伺うなど、女性部と来場者の交流が十分に図れました。

金田衆議院議員からも太鼓判頂きました。

子供も大人もみんな好物

また、ママヘラアイス販売では天候にも恵まれたおかげで、列は途切れることなく、多くの方が購入してくれました。列に並ぶ子どもたちは、きれいにアイスが盛られるヘラ技に子供たちも目を輝かせ「ありがとう」といってアイスを受け取ってくれました。

ＪＡまつり会場では、ママヘラアイスを片手に遊ぶ子供たちで会場の雰囲気もより一層お祭りらしさが増しました。

地場産使って“麦巻き”作り　～藤里町立藤里小学校　家庭クラブ～

女性部藤里支部（藤原京子支部長）は食農教育活動の一環として、９月４日に藤里小学校の家庭クラブに所属する６年生９名を対象に、地元産の材料（小豆、ニンジン、カボチャ）を使った“麦巻き”作り教室を開催し、藤原支部長のほか同支部の小山いく子さん、成田富貴子さんが先生役となり「麦巻き」作りを指導しました。

“麦巻き”は県内でも能代山本、男鹿・南秋地域の郷土料理でありながらも児童たちの大半は「食べたことがない」との反応に、女性部員も驚きの表情。

ホットプレートを使って焼き始めると、学校中がお菓子屋さんのような甘い香りでいっぱいになりました。児童らは女性部員の指導のもと、素手でくるくると巻き上げるも、「熱い、熱い」とおっかなビックリ。

出来上がった“麦巻き”の断面は綺麗な円が描かれ、初めて食べた児童は「バームクーヘンみたいで美味しかった。」と話してくれました。

女性部員手際の良さに感銘

素手は熱かったけど頑張って巻きました

綺麗な断面の和製バームクーヘンの完成

校長先生に差し入れ